

建築熱環境 Indoor Climate and Climate Design in Architecture
--

教員名	相良和伸（さがら かずのぶ）							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S 1 棟 7 階 7 1 1 室 電話：06-6879-7566							
E-MAIL アドレス	sagara@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	地球総合工学科建築工学コース（2年次）							
単位	2	セメスター					4	
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	室内における人間の温冷感を評価する手法と建物の熱的物理特性の解析方法について習得し、人間にとって快適な熱的環境の創造のための建築的技術について理解を深める。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
授業計画・概要	テーマ	概要					学習・教育目標	
	人間の熱環境と建築の気候計画（4回）	人間の体温調節機能と熱環境、熱環境を評価するための種々の温冷感指標についての基本的な知識と共に、建物のパッシブな熱制御である気候計画についての基本的な知識を身につける。（包括3回） また、代表的な温冷感指標の成り立ちと特色、算出方法に関する専門知識を身につける。（高度1回）					A F	
	建築伝熱の解析手法（7回）	熱移動の基本原則である熱伝導、熱対流、熱放射の理論についての基本的な知識を身につける。（包括5回） また、室内の快適な熱環境を維持するための冷暖房負荷算定への応用方法および非定常伝熱に関する専門知識を身につける。（高度2回）					F	
	学外授業（1回）	住宅メーカーの研究所などを訪問し、快適な室内環境を実現するための建築技術の現状と最新の開発動向に関する専門知識を身につける。宿題としてレポートを課す。（高度1回）					F	
	結露防止設計（2回）	結露のメカニズムと共に簡易な結露判定方法についての基本的な知識を身につける。（包括2回）					F	
	学期末試験（1回）							
教科書	伊藤克三他著「大学課程 建築環境工学」、オーム社							
参考図書・文献等	特になし							
成績評価方法・評価基準	AとFについて学期末試験およびレポートで評価する。配点は学期末試験 80点、レポート20点とし、総点で60点以上を合格とする。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント								